

第1回 勉強会

筑西市の現状について

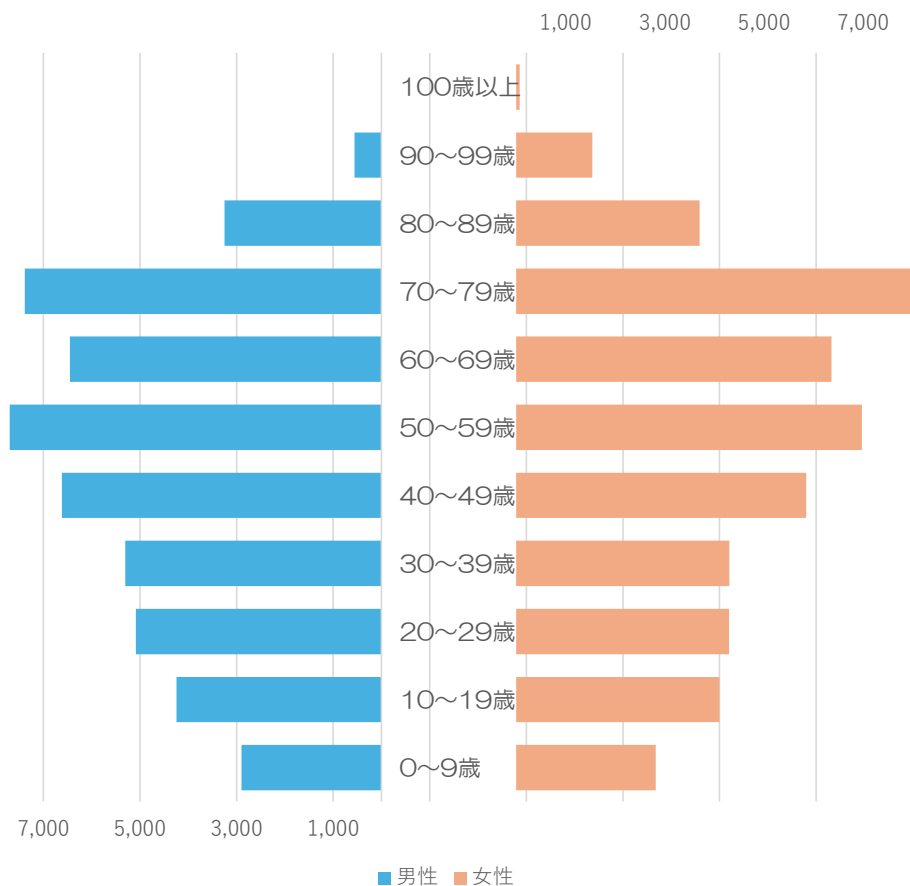
～ちくせい地域医療シンポジウムを振り返って～

筑西市役所 地域医療推進課 医療推進係

主任 小室 菜々恵

○筑西市の現在の人口内訳

筑西市人口ピラミッド



出典：筑西市

筑西市の人口 98,814人

(令和8年2月1日現在)

○年齢別人口トップ3

No,1 70歳代 (15,694人)

No,2 50歳代 (14,658人)

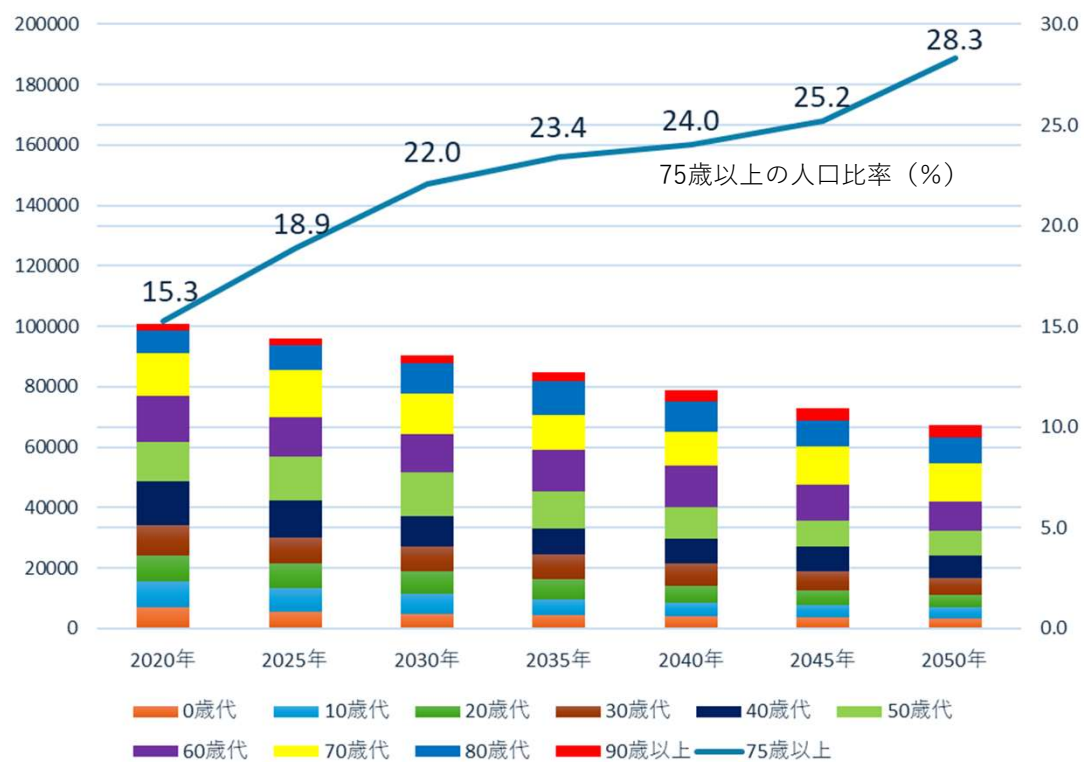
No,3 60歳代 (12,819人)

○高齢化率 33%

3人に1人が高齢者

○筑西市の将来人口

筑西市の将来人口



人口は減っていくのに
高齢者は増えていく

出典：国立社会保障・人口問題研究所（令和2年国勢調査による）

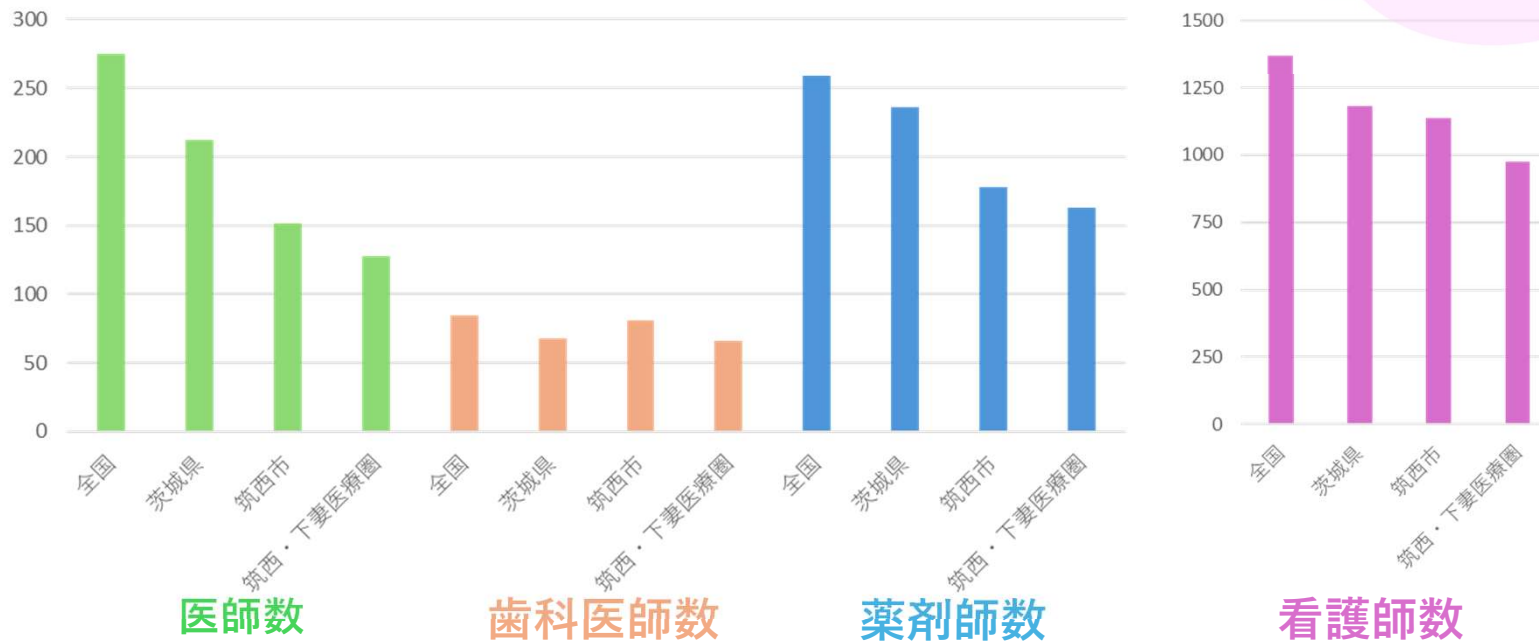
○筑西市の医療資源

病院：6施設
診療所：63施設
歯科：54施設
薬局：49施設

出典：関東厚生局
保健医療機関・保険薬局の指定一覧（R8.1.1現在）

- 医療資源は有限である
- 筑西市を取り巻く医療資源は全国平均より少ない

10万人あたりの医療従事者数



出典：令和4年茨城県医師・歯科医師・薬剤師統計の概要

○茨城県の動向

地域医療構想

(2016年～)

団塊の世代が75歳以上となる2025年に向け、**限りある医療スタッフと病床**を、二次医療圏単位でどのように協力して活用していくかの計画

入院における
病床の
役割分け

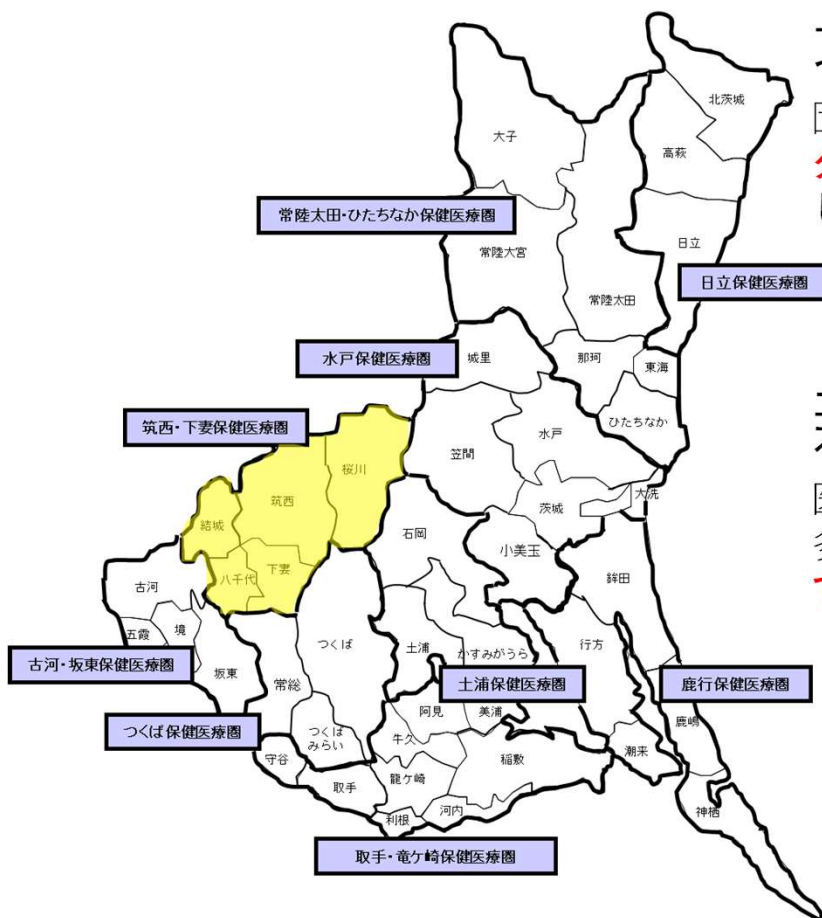
新たな地域医療構想

(2026年～)

医療・介護の複合ニーズ等を抱える85歳以上の増加がもっとも多くなる**2040年に向け、入院だけでなく、外来・在宅・介護までを連携**させ「地域完結型」の体制を目指す計画

入院だけでなく
全ての医療提供
の課題解決

「治す医療」を担う医療機関と
「治し支える医療」を担う医療機関
の役割分担を明確化



出典：茨城県地域医療構想

○病院の役割分担

一次医療機関 (初期救急)

日常生活での軽度のけがや病気に対する医療を提供する医療機関

- 一般診療所
→“街のお医者さん”と呼ばれるかかりつけ医を持つことが重要
- 夜間休日一次救急診療所

二次医療機関 (二次救急)

入院治療を必要とする重症・中等症患者の医療を担当する医療機関
専門性のある外来や一般的な入院医療を行う病院

- 茨城県西部メディカルセンター
- 協和中央病院
- 結城病院
- 城西病院

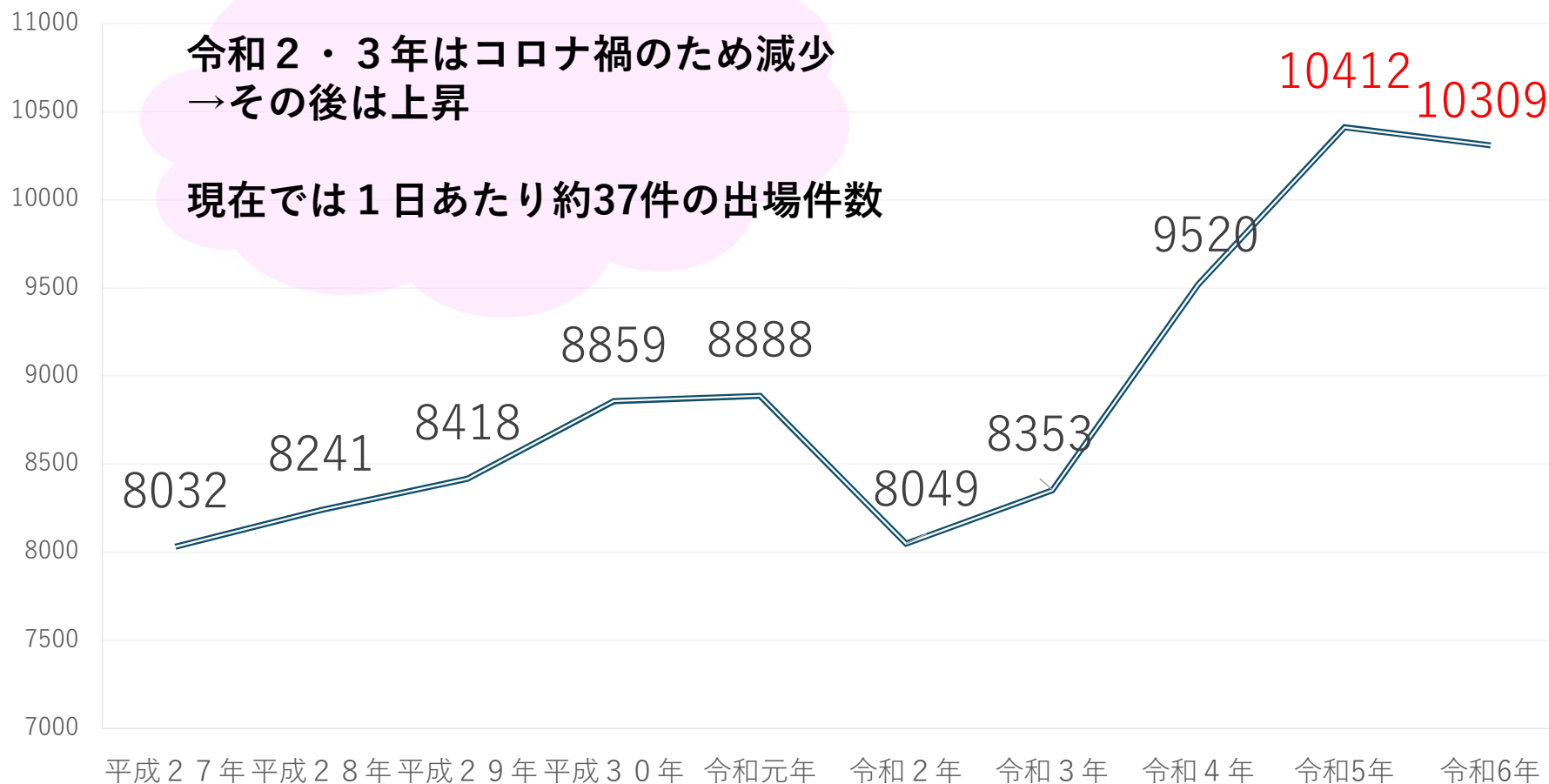
- 緊急性及び特殊性によって1次・2次・3次に役割分け
- 症状等に合わせて連携を取りながら医療を提供

三次医療機関 (三次救急)

特殊・先進的な医療に対する診断を必要とする、高度・専門的な医療を行う医療機関

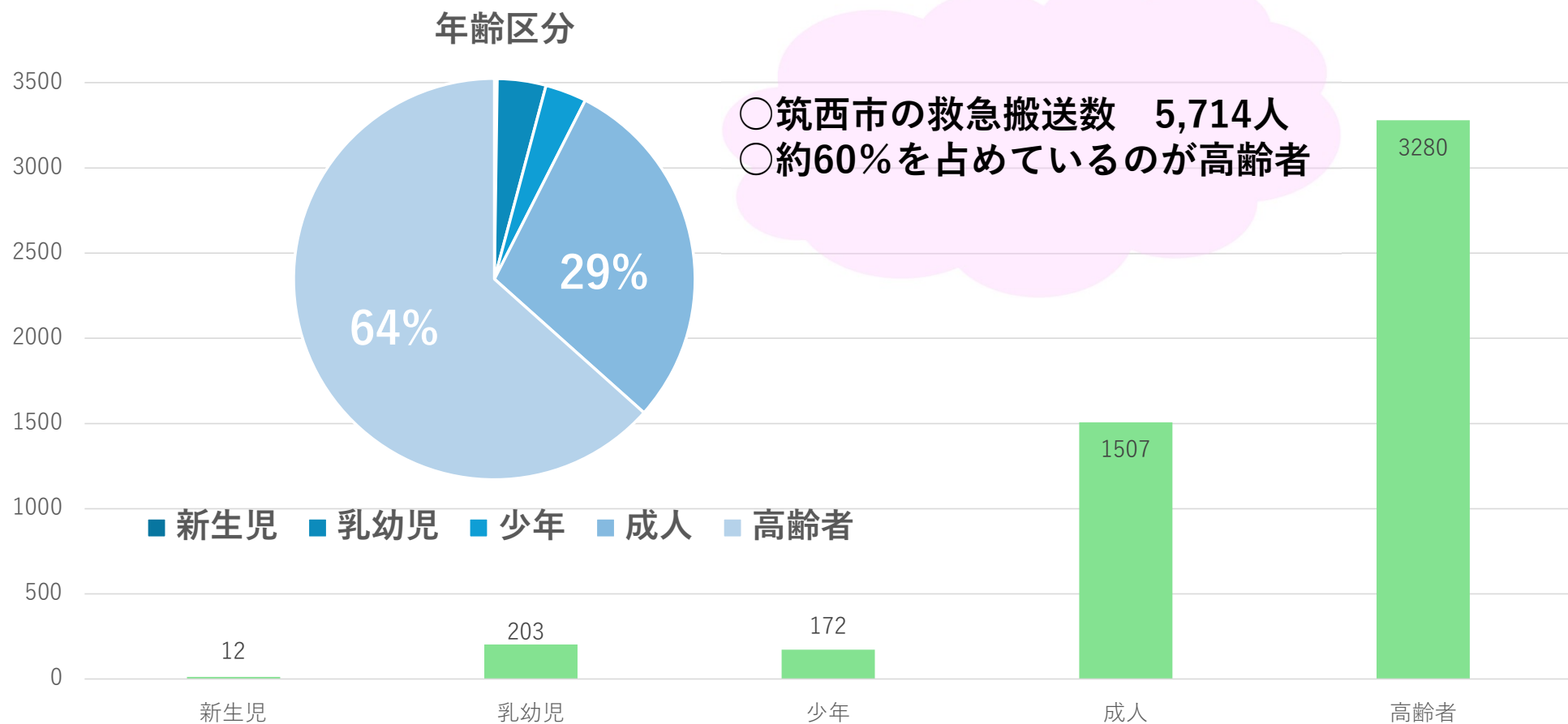
- 筑波大学附属病院

○救急出場件数（筑西広域圏内）



出典：ちくせい地域医療シンポジウム 増子氏資料

○筑西市の年齢別搬送人数（令和6年）



出典：ちくせい地域医療シンポジウム 増子氏資料

〇まとめ

地域医療（地域住民に必要な医療に対応した医療提供体制）は地域住民が安心して暮らすためには必要不可欠です。
地域医療を守るためにみなさんの協力をお願いいたします。

PLEASE

